

6期

1989(平成元)年
9月29日～10月9日

インドネシア共和国
シンガポール共和国
マレーシア
タイ王国

団 長

許田 英子

副 団 長

崎浜 清子

事務局長

安谷屋邦子

団 員

平良美佐子

新本ヨシ子

知花 幸子

仲田キヨ子

新垣トミ子

奥平久美子

山内 光子

立津 順子

下地美恵子

池間 勢津

玉寄 美代

安次富和美

参 与

渡口 武正

(16人)

研 修 先

インドネシア

インドネシア婦人担当大臣を表敬訪問し、婦人行政の支援・取り組み・育成等について研修する。また、婦人団体を訪問し、婦人の活動状況を聞き、夕食を共にしながら交流。

シンガポール

老人ホームを視察し、老人や浮浪者等の入所状況や婦人達の奉仕活動について研修。

マレーシア

身体障がい者施設の現状と運営・子どもたちの生活自立等について研修。

タイ

身体障がい者施設、婦人更生施設、ドウアン・プラティープ財団を視察しスラムの子どもたちの教育向上の取り組み等について研修する。また南城市出身の湧上和夫妻による歓迎の夕べに招待を受けタイの青少年に捧げる話などを聞く。

研 修 内 容



婦人の翼出発式



◀ジャカルタにて

インドネシア



インドネシア婦人団体との交流会

タイ



女性団体との交流会



熱心に女性大臣の話をメモする団員

シンガポール



南城市出身湧上和夫妻による歓迎の夕べ



シンガポール老人ホームの施設訪問

研修後の活動及び団員の状況

許田 英子

* 沖縄県助産師会役員、母子未来センター顧問

崎山 清子

* 沖縄市商工会議所女性会初代会長

知花 幸子

* 沖縄県立農業大学校校長

山内 光子

* 株式会社 MADONNA経営

安次富和美

* 南城市男女共同参画懇話会委員

* 地域の薬膳料理教室の講師

立津 順子

* 那覇市、西原町に保育園を経営し、園長及び理事長

新垣トミ子

* 八重瀬町の元公民館長

● 表 彰 者 ●

許田 英子

沖縄県知事表彰(看護教育)
(社)日本助産師会会長賞(助産師業務)



ものづくりの基本について講演。特産品開発で農村女性の起業を支援

7期

1990(平成2)年
9月7日～17日

インドネシア共和国
シンガポール共和国
マレーシア
タイ王国

団 長

高良ミチ子

副 団 長

大城 桂子

事務局長

新垣 幸子

団 員

渡真利春子

伊波 春子

島田千代子

山城 則枝

仲村 貞子

仲宗根藤子

大城 智子

渡久地澄子

東風平豊美

吉嶺 紀美

屋良 松枝

伊波 秀子

富山 和枝

参 与

安次富初子

(17人)

タイ

マレーシア

シンガポール

インドネシア

研修訪問先と研修内容

インドネシア

モハマディア児童福祉施設、婦人団体KOWANI(コワニ)、婦人職業訓練所(ベカウエ)訪問。インドネシア高官より女性政策等の活動について講話を聞き意見交換。また女性団体との懇親会を持ち、お互いの交流を深めた。

シンガポール

国が環境美化に力を入れ街全体が塵一つ落ちて無く公園のように美しい。義務教育制度はないが教育水準はすこぶる高い。

マレーシア

ブスパニタ婦人団体訪問。国民の信仰が厚く街の中には立派な寺院が目立った。大きな敷地に聳え立つ寺院シャラーモスクでは団員は黒衣装を羽織って礼拝した。クアラルンプールは開発真っ最中である。

タイ

サラブリー自然農法人材育成センター(サラブリー農園で県人湧上和夫氏の歓迎を受けた。)、クレッカーンホーム(女性更生施設)、婦人子供厚生施設を訪れた。エイズ感染の子どもたちに胸を痛めた。



インドネシア コワニの婦人たちとたのしくにぎやかに踊った。



タイのプラティープ財団訪問(子ども達の絵が団長に贈られた)帰国後5年間支援した。



タイで最も美しい寺院の一つ…エメラルド寺院をバックに。



研修後30年の活動

大城 桂子

* 県薬剤師会の会長を歴任し、現役薬剤師として後輩の指導中。

仲村 貞子

* 教職を定年退職後は平和教育の語り部、竹富町教育委員。

屋良 松枝

* 警察署での指導員を退職、子どもの虐待に関わる相談活動。

東風平豊美

* 現在民生委員として住民の福祉増進に取り組む。

島田千代子

* 浦添市でだこ大学12期生。

新垣 幸子

* 沖縄県信用保証協会、「おきなわ女性財団」を経て「沖縄県青少年育成県民会議」でボランティア活動中。

大城 智子

* 農協ふれあい活動の世話役と婦人会活動。

仲宗根藤子

* 「沖縄市学びの会」を設立、元会長。

富山 和枝

* インドネシア、マレーシア、スリランカ、ベトナム等の方々のホームステイを引き受け交流を重ねている。

吉嶺 紀美



ハーバービュー庭園(2006.4.30)

* 80代の介護の域に入り、健康に留意している日々である。

伊波 春子

* 婦人会活動の後は、市や地域の老人会の役員として活動を楽しんでいる。交通安全のボランティア活動。

渡久地澄子

* タイ国会議員の要請でガールスカウト連盟と共にカノック奨学制度(現国際ボランティアの会)を立ち上げた。

アセアン4カ国の研修後、私たち仲間は行政を始め多くの分野で活躍している。



記念誌づくりのため集まった(2016.12)



ている中庭(2016.12)

表 彰 者

吉嶺 紀美 1989/1990年
総務庁統計局長表彰

8期

1991(平成3)年
9月29日～10月9日

インドネシア共和国
マレーシア
タイ王国
シンガポール共和国

団 長

平良 初子

副 団 長

杉本 光子

事務局長

照屋エミ子

団 員

新崎 侑子

名嘉山敏子

上原 苗子

比嘉 京子

宮城 久子

仲里 幸子

平安山初子

湧川ツル子

亀島恵美子

与那嶺絹子

下地リツ子

眞栄城千代

参 与

吉浜 政子

(16人)

タイ

マレーシア

シンガポール

インドネシア

研 修 先

インドネシア

ベカオエ女性団体、ジョグジャカルタ女性団体訪問

マレーシア

戦没者記念塔見学、プスバニタ婦人団体、
国際協力事業団マレー事務所訪問

タイ

サラブリー自然農法人材育成センター、
ドゥアン・プラティープ財団、身体障がい児童施設、
KREDTRAKARNHOME-クレックカーンホーム(女性更生施設)見学

シンガポール

植物公園視察

研 修 内 容



婦人の翼出発 那覇空港国際線



インドネシア

ジョグジャカルタの婦人団体
との交流



シンガポール

植物公園視察

広大な公園で蘭を見学。
ウェディングカップルに出
会う。幸せな気分になる。

タイ



サラブリー自然農園

EM 農法で育てた野菜作り、一歩進んだ農法に感激。



ドゥアン・プラティープ財団の幼稚園

貧しい子どもたちに教育を与えることでスラムを変えようと立
ち上がった一人の女性ドゥアン・プラティープさん。自宅の一室
で学校を開いたことから出発。里親制度を作り世界各国へ援助
を呼び掛けている。



メナム河も人々の大切な生活の場、水上マーケットには日用品が並ぶ。

研修後の活動及び団員の親睦、交流

アセアン4か国を訪問研修してから25年が経った。団員のほとんどが現役を退いていて、活動の場や地域も異なるこ
とから日常的に一堂に会し行動することは多くない。それぞれの地域で福祉、教育等のボランティア、自治会や老人会、婦
人会等の活動を担っている。海外研修に参加したことは、職種を超えた幅広いネットワークで活躍している仲間からの多
くの刺激を受け、視野を広げる活動の契機になった。

平良 初子

元母子寡婦福祉会々長。

杉本 光子

赤十字奉仕団、更生保護女性会など地域ボランティア活
動。南部振興会から表彰を受ける。

照屋エミ子

現職中は労働組合で役員を担い、女性の労働条件の改
善、現在は自治会役員。

眞栄城千代

地域の自治会長や老人会の役員を勤める。

上原 苗子

元那覇市老人クラブ副会長。琉舞を通して地域ボラン
ティア活動。内閣府エイジレス・ライフ実践者に選出さ
れる。

与那嶺絹子

元西原町中央公民館長。

比嘉 京子

36年間保護司として活動。

平安山初子

瑞流日舞教室「ゆうづるの会」を主宰し日舞の指導。

名嘉山敏子

地域の公民館の民舞サークルの指導。

仲里 幸子

元沖縄県立看護大学教授。元学校法人沖縄カトリック中
学校・高等学校校長。

新崎 侑子

教職を退職後、家庭相談員や教育関係のボランティアに
従事。
宮城 久子
沖縄キリスト教短期大学の非常勤講師等。

9期

1992(平成4)年
10月16日～26日

タイ王国
マレーシア
インドネシア共和国
シンガポール共和国

団 長
與儀千代子
副 団 長
比嘉美智子
事務局 長
仲村千恵子
団 員
辻野ヒロ子
西大八重子
宮里由紀子
元山満壽美
當原 直子
浦崎 清子
玉城美佐子
宮城 孝子
吉田 末子
嘉味田和子
伊川 幸子
与那覇タズ子
参 与
安里 和子
(16人)



研 修 先

- | | |
|--------|--|
| タイ | 婦人更生施設、重度身体障がい者施設、湧上和夫氏の農場訪問 |
| マレーシア | マラヤ大学女性研究室、マレーシア女性対策省訪問、日本文化研究館、アジア美術博物館、ゴム園視察 |
| インドネシア | インドネシア婦人担当大臣表敬訪問、アサキナ孤児院訪問 |
| シンガポール | NTUC (National Trade Union Congress)、日本人学校訪問 |

研 修 内 容

アセアン4か国研修は、訪問国の女性進出、社会情勢、教育環境、福利厚生など多岐にわたる内容であった。特にシンガポールでのNTUCが印象に残る。1960年に創設されたNTUCはシンガポール繁栄のため国家経済の安定を目指し並々ならぬ努力があった。その結果NTUCでの女性達の活動範囲は保育所、スーパーマーケット、タクシー、食堂、リゾート施設と広がり、その進出は著しい。タイでは沖縄出身で民間大使を務める湧上氏が自然農法で農場経営を行い人材育成に尽くしている姿に感銘した。



インドネシア、ボロブドゥール仏跡は人々の無限の創造力を感じさせてくれた。



タイ国民間大使に団員による琉舞を披露。サンシンの音色に故郷を想いだした。

タイ

マレーシア



果てしなく続くマレーシアゴム農園視察青年の働く姿は文明を支える力。

研修後の団員の活動

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 玉城美佐子 | 小学校、地域でお茶の教授 |
| 嘉味田和子 | 赤十字奉仕活動 |
| 比嘉美智子 | 茶道の教授・ボランティア活動 |
| 伊川 幸子 | 元西原町議、現在NPO法人ミラソル会理事長 |
| 宮城 孝子 | 名護市の民話紙芝居製作活動 |
| 宮里由紀子 | 二葉保育園園長 |
| 西大八重子 | 西大料理学院院長 |
| 与那覇タズ子 | 元宮古島市議、現在ボランティア活動 |
| 辻野ヒロ子 | 元沖縄県議会議員、現在地域社会活動 |
| 當原 直子 | 消費生活専門相談員 |
| 元山満壽美 | 地域でお茶の教授
金武町や北部地区婦人会々長等 |
| 仲村千恵子 | NPO関係ボランティア活動、翻訳、農業者 |
| 安里 和子 | 沖縄子どもの文化研究会
沖縄福祉文化のボランティア活動 |
| 與儀千代子 | 那覇地裁調停委員、沖縄県ゆうな協会理事 |
| 浦崎 清子 | 沖縄市教育委員、沖縄市女性問題懇話会会員 |



ウントゥーン会の結成11回目の総会アセアン歴訪の想い出話に花が咲いた。

取り組みの実績

9期の名称を「ウントゥーン会」と命名し活動してきた。
1992年2月18日第9期は西大学院に集い、「ウントゥーン会」(インドネシア語でラッキーの意味)を結成した。

1. 国際貢献

- ①国際ボランティアの会に入会し人材育成事業へ参加。
カノック奨学金里親制度に参加し、タイとラオスの3人の里親として奨学金を贈る。
- ②インドネシアには学校建設資金協力寄付金を贈る。

2. 団員の激励

議員当選や職場での昇進褒賞受賞者などに対して、激励会を開催。

3. 自主研修

- ①西大学院(学長西大八重子・南城市在)でお茶会を開催
- ②児童文化活動の一環として、人形劇団「かじまやあ」を訪問。沖縄愛楽園を訪問。
- ③北谷浄水場・海水淡水化センター施設見学。
- ④海外研修でハワイ・ニューヨークを訪問。

4. 沖縄県女性の翼第9期 ウントゥーン会記念誌発行

- 10周年記念誌(2004年10月30日)
- 20周年記念誌(2015年10月30日)

5. 新ウントゥーン会

20周年記念誌発行を機に、ウントゥーン会を発展的に解消し、新ウントゥーン会として年2回、5月と10月に情報交換会・懇親会を開催し、親睦を深めている。



第9期(1992年)
ウントゥーン会

10期

1993(平成5)年
9月5日～15日

インドネシア共和国
シンガポール共和国
マレーシア
タイ王国

団 長

島袋 タケ

副 団 長

志村 政子

事務局長

浦崎 成子

団 員

座間味好子

富浜 正子

下地 正子

野里 節子

松田ミサ子

長浜 君子

友利 友子

久手堅米子

平良 恵子

仲吉 八重

山城 京子

仲栄真スミ子

参 与

新城 豊子

(16人)

研 修 内 容

インドネシア

CIKINI(チキニ)病院訪問。またPKK、KOWANI(女性団体)を訪問し、国内の大きな女性組織3団体より、活動内容について報告を受ける。官制団体や草の根の女性組織が、女性の福祉、経済的自立を支援している。

シンガポール

NTUC運営の幼稚園は、中国語、英語が習得できるように多民族国家としての教育が徹底していた。国際的物流拠点、観光政策の先進性が小さな国を豊かにしていることを実感。

マレーシア

マレーシア女性対策省が、国内女性のための多彩なプログラムを実施していた。NGOとの緊密な連携が印象的であった。マレーシア女性団体協議会訪問。

タ イ

民間大使として、タイ国農業を指導し活躍する湧上和夫氏の農場を見学。婦人更生施設は、手仕事を身につけるプログラムやタイの祝祭公式行事、外部の教師による多彩な教育が施行されていた。ドゥアン・プラティープ財団視察。



インドネシア:プラバナン寺院旧跡にて

研修後の活動及び団員の親睦、交流

研修後は、時おりニュース・レター「WING 10」(ウイング テン)を通じて、団員の消息を知らせていた。近年、定期的な交流は少なくなったが、それぞれ元気で活躍し、電話等で現況の確認をしている。沖縄県女性の翼の会主催の宿泊研修、総会参加でも交流を深めている。

今後、さらに深みを増した活躍を続けたい。



2002年、済州島の女性団体との交流会へ参加



マレーシア:「独立記念広場」にて——
1957年、マラヤ連邦としてイギリスから独立



タイ:民間大使、湧上和夫氏主催歓迎会



タイ:ドゥアン・プラティープ財団玄関



沖縄県「済州島会
(チエジュ会)」で活
躍の島袋、座間味



下地正子会員の糸芭蕉、芋麻畑(宮古島)を訪問

団員の活動

- 社会教育委員
- 県母子寡婦福祉会会長
- 国際会議コーディネーター
- 老人ホーム施設長
- JICAの協力支援
- 老人会役員
- 食育研究家
- 伝統文化工芸家
- 教育委員
- ボランティア活動
- 福祉施設支援
- 女性史研究
- 児童館館長
- 市町村議員



旧佐敷町「長生源」薬草園見学(2005年2月)